

令和6年度 予算を問う

総括質疑 予算特別委員会

予算特別委員会では、2月22日、26日、27日、28日の4日間、24人の委員が予算全般について質疑を行いました。



一般会計予算に対する付帯意見

- ・私立学校等保護者支援については、給食費相当額を現金給付にて実施されるよう執行方法を見直されたい。
- ・経常経費の増大を抑制するため、事業の抜本的な見直し・廃止を着実に行われたい。
- ・区民の健康増進が図られるよう受動喫煙対策においては、全庁的な施策の推進に取り組みられたい。
- ・生成AIの導入に当たっては、予算審査での指摘を踏まえ、必要最低数で効果の検証を実施したうえで、段階的に導入されたい。
- ・庁舎移転廃棄物等対策「不要什器等廃棄業務委託」の予算執行にあたっては、リサイクルと経費節減に努められたい。

令和6年度予算
 一般財源歳出の内数をモノをつくる「ハード事業」とその他の事業を「ソフト事業」と定義したとき、令和2年度199億円だったソフト事業費は、5年間で142億円増加した。基金・起債を除いた中野区の基礎体的な歳入の総計である一般財源歳入は、この5年間で805億円から921億円となった。歳入に



自由民主党議員団 加藤 たくま

問 インフレ傾向が続く可能性が高い現状で、より安定的な財政運営とするため、起債の繰上償還を早める等の先手の計画性が必要ではないか。
答 適切な時期を見定める。令和6年度予算編成段階では、能登半島地震は発生し

対するソフト事業費の割合は、24・7%から37%に増加している。この事実に対する区の見解は。
答 歳入の伸びとソフト事業費の伸びの勘定が合わないことは、認識している。財政フレーム策定において、歳入はGDPやインフレを考慮しているが、歳出は考慮されていない。歳出のフレームでも同様を含め、算定すべきと考えるが、区の見解は。



立憲・国民・ネット・無所属議員団 山本 たかし

令和6年度予算

歳入は、一般・特定財源を合わせて2千4億円で、令和5年度比2・5%増と過去最高だが、積み立てできていない基金がある。令和7年度に転出補償金や定額減税分が歳入に戻った際に、財政調整基金に積み立て予定とのことだが、今回積み立てができなかった基金を優先すべきでは

答 転出補償金は計画どおり、財政調整基金への積み立てを考えている。定額減税分は検討し、適切に積み立てる。

問 現状の運営委員会は、事務局員の雇用や人件費の工面に苦慮しながら対応している。地域活動の支援や住民間の繋がりが、人材発掘に注力するのが本来の役割ではないか。
答 現状の課題を整理し、調整しながら方向性を示したい。

区民活動センター運営委員会

問 現状の運営委員会は、事務局員の雇用や人件費の工面に苦慮しながら対応している。地域活動の支援や住民間の繋がりが、人材発掘に注力するのが本来の役割ではないか。
答 現状の課題を整理し、調整しながら方向性を示したい。

問 新たな財政運営の考え方は、基金積み立て計画はあっても、歳入次第で計画的に積み立てができない。確実な積み立てのため必要な基金を優先して積み立てるべきでは。
答 基金残高の一定額の確保は重要だが、区民サービスに支障がないよう、様々な状況を踏まえ、適宜適切に財政配分を考え、持続可能な財政運営を進めていきたいと考える。

問 令和6年度の情報システムに係るランニングコストは21億6千万円余となる。特に新庁舎窓口に係る経常経費は3億円近く増えるが、システム導入による人件費の削減がなければ導入の効果がわからない。窓口での人件費等の削減についてどう考えているか。
答 業務効率化により超過勤務を及ぼさないように、積算の仕方等も研究していく。



公明党議員団 日野 たかし

令和6年度予算

新たな財政運営の考え方は、基金積み立て計画はあっても、歳入次第で計画的に積み立てができない。確実な積み立てのため必要な基金を優先して積み立てるべきでは。
答 基金残高の一定額の確保は重要だが、区民サービスに支障がないよう、様々な状況を踏まえ、適宜適切に財政配分を考え、持続可能な財政運営を進めていきたいと考える。

問 2月5日に能登半島地震の災害ボランティアに行ってきたが、被災地では1月の早い時期に、地元の方に限定したボランティアを募集している。基礎自治体があった。仮に中野区が被災した場合、早い時期にボランティア活動ができるよう、受け入れ対象を区内在住者限定等にするなどの検討を行っているかどうか。
答 ボランティアの受け入れは、中野区社会福祉協議会が設置するボランティア本部が行うことになるが、区内限定のボランティア募集については、中野区社会福祉協議会と協議しながら検討していきたい。

問 川崎市では庁舎建て替え時の什器の処理を、廃棄物とリサイクルできるものに分けることで、大きく処分費用の削減を図った。中野区の区有施設でも同じような手法で実施することを検討しては。
答 他自治体の事例等も踏まえ、縮減できる手法を研究していきたい。

区有施設の廃棄物処理

問 川崎市では庁舎建て替え時の什器の処理を、廃棄物とリサイクルできるものに分けることで、大きく処分費用の削減を図った。中野区の区有施設でも同じような手法で実施することを検討しては。
答 他自治体の事例等も踏まえ、縮減できる手法を研究していきたい。

中野区議会は、虚礼等の廃止を決議しています

《虚礼等廃止の主な事項》

- 時候の挨拶状の送付
- 中元、歳暮等の贈答
- 慶事、弔事についての廃止事項
 - ① 祝儀、香典、供花の贈与
 - ② 祝電、弔電等の発送
- 病気等の見舞における金品等の贈与
- 新聞、雑誌、名簿、掲示板等への広告
- 各種行事、各種団体に対する寄付・カンパ、祝儀、祝電、金品等の贈与等

贈らない

求めない

受け取らない

